

(3) 小学生へのアンケート結果

1. 調査の概要

令和 5 年 1 月に、東生田小学校で 1～6 年の生徒に対して、生田緑地に
関する利用者アンケート調査を実施しました。回答者は、655 名で、学
年ごとにおおよそ同数の回答を得ました。10 月に行った公園利用者へ
のアンケート数の 1.5 倍近い回答数を得ました。
(男子 304 名女子 323 名)

	回収数	構成比
1年生	118	18.0%
2年生	118	18.0%
3年生	101	15.4%
4年生	120	18.3%
5年生	103	15.7%
6年生	86	13.1%
わかば	9	1.4%
合計	655	100%

2. 調査結果の分析

■よく利用されている公園施設について(①)

- 中央広場 541、榊形山広場・展望台 411、宙と緑の科学館 283、岡本太郎美術館 217、ビジターセンター 163、ホタルの里 124 の順に多くなっていました。
- 一般利用者アンケートの結果と比較すると、民家園が少なく、ホタルの里が多いので、自然の利用の方がよくされていることが分かりました。
- 宙と緑の科学館、岡本美術館で、よくイベントがあり、子どもたちに人気がある施設になっています。
- ホタルの里やつつじ山、しょうぶ園、とんもり谷戸などの利用が多いということから、子どもたちは自然の中に入る機会が多いようです。

■何をしに行くかについて(②)

- 「遊びに行く」が最も多いのは、子どもたちにとっては、全てが遊びという感覚で公園を利用しているからと思われる。
- ボールあそびは、他のあそびと少し違うようです。
- 生田緑地は、学校の授業でもよく使われていることが分かります。
- イベント、ピクニックなどの印象に残るできごとの記憶が数値に表れているようです。

■自然のうち、何に興味があるかについて(③)

- 自然のうち、「星空」が一番で、宙と緑の科学館の魅力が大きいようです。
- 樹木、季節の花、水生生物、小動物、植物、昆虫の順に多く、その差は小さいので関心は多方面にあるようです。
- 野鳥、水辺、キノコ、地層にも興味があるようで、「とくに興味ない」は最も少なかったことから、自然は大きな魅力を備えていることが分かりました。

■自然・文化を守り、ふれあう活動への協力について(④)

- 活動を広げていきたいが、みなさんは、どのように協力できるかという問いに対し、「植物を育てる」、「自然観察会に参加」、「昔遊びを伝える」が順に多く、協力の意欲はあるようです。
- 「大人になったら参加したい」「できる活動が分からない」、「どうしたらよいか分からない」が多く、体験や情報が少ないようです。
- 「参加したくない」は 104 名で全体の 16%程度でした。
- 「既に活動している」が 39 名で全体の 6%程度いました。

■より良い生田緑地にするための意見について(⑤)

- 「自然を大切に将来へ残す」が半数以上で最も多い意見でした。
- 「遊びの施設を増やす」も 1/3 以上の多い意見でした。
- 「生き物の種類をもっと増やす」と「イベントを増やす」が同程度いました。

- 「楽しく歩ける道を増やす」「眺めのよい場所を増やす」、「レストラン、売店を増やす」「休憩所を増やす」、「昔のことを体験できるようにする」などの公園的要素への回答もありました。
- 「ばら苑に行きやすくする」という意見もありました。
- 小学生には難しい質問でしたが、たくさんの意見をもらいました。

